

# 関東学院大学 vs 日本体育大学

10月18日(土)  
11:30K.O.  
江戸陸

首位を走る関学大と、上位グループとの差が開いてしまった日体大との対戦。2位以下がもたついている間に一気に突き放したい関学大に対し、昇格争いへの参戦が厳しくなった日体大が意地を見せられるか。

関学大は前節、東農大と対戦し2-1で競り勝った。連敗脱出を目前に東農大の気迫に押されてシュート数も6-11と苦戦を強いられ、「17試合で内容は最低。やりたいことがほとんどできなかったが、よく我慢してくれた」(石村大監督)。相手GKの位置をよく見たFW萱沼優聖(3年)のロングシュートで先制したものの、相手の厳しいプレスと気迫の前にボールを持たせてもらえず、後半も流れは変わらず82分にPKを与え同点に。しかし残り時間は選手交代でパワープレーを仕掛け、アディショナルタイムに決勝点を奪った。劣勢の中でも最後まで勝点3の獲得を目指す、昇格を争うチームらしい勝負強さを見せた大きな勝利。このまま勢いに乗れるか。

対する日体大は前節、青学大との6位・7位対決に敗れた。昇格争いを狙うためにはお互いに負けられない同勝点での対戦で、一進一退の緊迫した試合となり、48分の青学大の先制点に対し日体大はすぐ4分後に同点に。しかし、アディショナルタイムに勝ち越しを許して

敗れた。「最後までどのように戦うか、怖さを知ったゲームだった。最後は攻撃していたが、切り替えが遅くなってしまったことが悔やまれる」(倉又寿雄監督)。今節は、前線の起点として定着していたFW藤井貴之(3年)が出場停止だが、上位進出を目指して積極的に攻撃を仕掛け、昨季1部チームとしての意地を見せたい。

<出場停止>藤井貴之(日体大) / 3回警告:ソドカポニフェイス(日体大)

<前期の対戦>関学大2-2日体大

関学大		日体大	
2. 吉田	8. 普光院	26. 福田	6. 赤平
3. 原島	18. 萱沼	20. 高野	24. 大石
1. 井田	7. 太田	7. 長谷川	1. 伊藤
	33. 村田	25. 輪笠	
19. 山口	22. 井上	23. 小泉	3. 広瀬
	11. 中村	10. 阿部	
16. 木村		2. 高野	

# 拓殖大学 vs 法政大学

10月19日(日)  
11:30K.O.  
味スタ西

後期初黒星で連勝が途切れた拓大と、こちらも痛い敗戦を喫ってしまった法大との対戦。東洋大に抜かれて4位-5位対決となったが、1勝で2位浮上も可能な勝点差だけに、今後の昇格レースを占う重要な試合だ。

拓大は前節、産能大に0-1で敗れてしまった。後期は、2引き分けはあったものの初黒星。しばらくキープしていた3位の座も明け渡してしまった。産能大との試合は、相手も連敗脱出を狙ってきたためお互いに激しいボールの奪い合いとなり、ゴール前まで運べるシーンは少ない展開。産能大がDFラインを高く保っていたため、拓大の攻撃はことごとくオフサイドにかけられ、なかなかチャンスを見出せなかった。「裏にスペースがあったので、もっとシンプルに狙いたかった。相手の守備が厚かった」(玉井朗監督)。試合が落ち着く前の12分、一瞬の隙を突かれた1失点が痛かった。今節も激しい攻防が予想される。球際の勝負で負けないことが重要だ。

一方の法大は前節、平国大に1-2と逆転負けを喫した。シュート数は15-4。平国大の粘り強く厚い守備にあいながら、根気強く攻撃を仕掛けてフィニッシュまで持ち込み、70分について先制点を奪った。しかし、その5分後に同点弾を許し、81分にはPKを与えて勝ち

越し点を奪われた。「1点を取って、隙を見せてしまった。シュートやクロスの質を上げればもっとよくなると思う」(長山一也監督)。2点目を奪うということが引き続きの課題ではあるが、リードした後の時間帯を考えた戦い方が、終盤戦への教訓になったととらえたい。

「どれだけ強気でやれるか、期待したい」(長山監督)。  
<3回警告>三浦勇人・多田和明(拓大)、青島拓馬・相馬将夏・白石智之・田代雅也(法大)

<前期の対戦>拓大0-3法大

拓大		法大	
13. 新山	7. 大森	8. 三田	6. 星
6. 紙谷	10. 柴田	5. 山口	3. 宗近
1. 佐川	19. 森川	9. 相馬	21. 富澤
	18. 河野	10. 高橋	
	8. 菅能	25. 西室	
3. 三浦	4. 小針	14. 白石	13. 藤本
16. 高橋			

\* 予想布陣は直近の試合を参考に作成しています\*

# JR 東日本カップ 2014 第 88 回関東大学サッカーリーグ戦

**if** OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM  
Division2 2014-NO.18  
編集:五味亜矢子 発行:(一財)関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ



## 東洋大3位浮上、昇格争いは大混戦!

JR 東日本カップ 2014 第 88 回関東大学サッカーリーグ戦・2部リーグは後期も折り返し点を過ぎ、第17節の6試合とミドルウィークに第16節の延期分2試合が行われ、昇格争いが大混戦となってきた。まず第17節では、首位の関学大が東農大の粘りを振り切って2-1で勝利したが、2位・神大は東学大と1-1で引き分け、3位・拓大は産能大に0-1、4位・法大は平国大に1-2で敗れて足踏み。5位・東洋大が日大に2-0、6位・青学大が日体大に2-1で勝利したことで上位陣の勝点差がぐっと縮まった。そして15日に東洋大が神大を2-1、青学大が産能大を1-0で下し、東洋大が

得点ランキング		アシストラランキング	
10: 星子直哉(平国大)	8: 大森勇希(拓大)	7: 伊東純也(神大)	7: 伊東純也(神大)
9: 萱沼優聖(関学大)	7: 伊東純也(神大)	仙頭啓矢(東洋大)	仙頭啓矢(東洋大)
7: 富樫敬真(関学大)	6: 恵龍太郎(青学大)	6: 恵龍太郎(青学大)	6: 恵龍太郎(青学大)
中野春樹(日大)	5: 萱沼優聖(関学大)	5: 萱沼優聖(関学大)	5: 萱沼優聖(関学大)
成瀬琢斗(日大)	木村魁人(日大)	木村魁人(日大)	木村魁人(日大)
6: 全5名	小林玲櫻(日大)	小林玲櫻(日大)	小林玲櫻(日大)

3位に浮上し2~6位が勝点2差で争うことになった。下位も10~12位が勝点2差。残りは4試合、昇格・残留争いとも緊迫感を増してきた!

## JR 東日本カップ 2014 第 88 回関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第17節終了時。上段が前期の対戦結果)

順位	2部	関学大	神大	東洋大	拓大	法大	青学大	日体大	日大	東学大	平国大	東農大	産能大	勝数	負数	分数	得点	失点	得失	勝点
1	関学大	302 11/15		102 200	200 10/26	201 11/9	104 11/1	222 10/18	402 100	300 1Δ1	500 001	201 201	3Δ3 100	11	3	3	35	20	15	36
2	神大	203 日体大G		001 102	400 11/9	301 11/2	2Δ2 10/18	0Δ0 10/26	100 302	301 1Δ1	503 102	300 1Δ1	400 100	9	4	4	35	19	16	31
3	東洋大	201 002	100 201		002 11/2	002 302	1Δ1 11/9	102 301	001 200	001 11/15	302 10/25	100 300	400 10/18	10	6	1	26	18	8	31
4	拓大	002 古河	004 横須賀	200 法大G		003 10/19	3Δ3 11/15	200 201	200 0Δ0	003 401	500 200	100 1Δ1	100 001	9	5	3	25	19	6	30
5	法大	102 横須賀	103 法大G	200 200	300 味スタ西		2Δ2 301	0Δ0 11/15	4Δ4 10/25	200 301	0Δ0 102	100 300	2Δ2 200	8	4	5	32	20	12	29
6	青学大	401 産能大G	2Δ2 青学大G	1Δ1 夢の島	3Δ3 産能大G	2Δ2 103		200 201	201 103	002 10/25	1Δ1 100	300 201	001 100	8	4	5	28	22	6	29
7	日体大	2Δ2 江戸陸	0Δ0 保土ヶ谷	201 103	002 102	0Δ0 日体大G	002 102		0Δ0 11/8	100 002	201 301	1Δ1 11/1	401 201	6	6	5	20	21	-1	23
8	日大	204 001	001 203	100 002	002 0Δ0	4Δ4 平国大G	102 301	0Δ0 江戸陸		200 301	002 10/18	1Δ1 11/15	300 11/1	5	8	4	22	24	-2	19
9	東学大	003 1Δ1	103 1Δ1	100 東学大G	300 104	002 103	200 早大G	001 200	002 103		302 11/1	001 10/18	1Δ1 11/8	5	9	3	18	27	-9	18
10	平国大	005 100	305 201	203 平国大G	005 002	0Δ0 201	1Δ1 001	102 103	200 川口	203 日体大G		001 11/9	406 11/15	4	11	2	21	39	-18	14
11	東農大	102 102	003 1Δ1	001 003	001 1Δ1	001 003	102 日体大G	1Δ1 東学大G	100 千葉東総	100 たつこの		500 10/25		3	10	4	14	25	-11	13
12	産能大	3Δ3 001	004 001	004 青学大G	001 100	2Δ2 002	100 001	104 102	003 産能大G	1Δ1 たつこの	604 産能大G	005 東国大G		3	11	3	16	38	-22	12

体育会学生のための  
**リクナビ就職エージェント**  
ゴールは、自分の中にある。  
部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」  
リクナビ 体育会



# 東洋大学 VS 産業能率大学

10月18日(土)  
11:30K.O.  
青学大 G

4連勝で3位に浮上した東洋大と、最下位脱出を目指す産能大との対戦。両チームとも水曜日に試合をしており、中2日でのゲームとなる。

東洋大は前節、第16節の試合延期をはさんで今季開幕戦で敗れている日大と対戦。スコアは2-0の勝利だが、古川毅監督が「ボールを保持できず厳しい試合だった」と話したように、内容は辛勝。少ないチャンスを確実に得点につなげた。第16節延期分の神大戦は、昇格圏にいるチームとの重要なゲームであったが、こちらも効果的に得点して2-1で勝利。一旦は追いつかれたものの、後半唯一のシュートで勝ち越した。「攻守とも先手を取ることを意識した」（古川監督）というように、守備から素早く左右に展開して攻撃を仕掛け、FW 平石直人（4年）が2得点と活躍。波に乗り、一気に昇格圏をとらえることができるか。

対する産能大は前節、拓大に1-0で勝利し、後期初勝利、そして初の勝点をつかんだ。積極的なプレスとコンパクトな守備で球際の戦いに勝り、拓大の攻撃はオフサイドで未然に防いだ。そのまま一気に昇格圏を脱出したいところだったが、第16節延期分の青学大戦はまたも0-1の敗戦。拓大戦と比べ、立ち上がりから先手を

取られて相手に押し込まれたところで、引き過ぎてしまった。「後期はずっと同じ戦いができているが、もっと自分たちから流れを引き寄せられるようにしたい」（加藤望監督）。後期は0-1の敗戦がすでに3試合。我慢の時は続くが、降格圏を抜け出せる可能性はまだ十分にある。受け身にまわらないことが第一だ。

<3回警告> 小山大貴・遊馬将也・仙頭啓矢（東洋大）、楠元秀真・見留耀太・須永亨（産能大）  
<前期の対戦> 東洋大4-0産能大

東洋大		産能大	
3. 筑井	20. 仙頭	26. 桜井	15. 杉崎
12. 瀧澤	10. 平石	32. 木下	19. 石渡
15. 小山		10. 見留	8. 浜下
7. 齊藤		14. 須永	1. 森谷
4. 郡司	18. 遊馬	4. 楠元	
8. 小島		33. 上長	
16. 石坂		6. 遠藤	
1. 浅沼			

# 東京学芸大学 VS 東京農業大学

10月18日(土)  
11:30K.O.  
千葉東総

後期1勝の東学大に対し、東農大はまだ勝利がない。9位と11位、降格ラインをはさんでの対戦はどちらも負けられない。

東学大は前節、神大と1-1で引き分けた。21分に先制点を奪ったが、83分に直接FKを決められ、追い付かれて終了。後期は6試合すべてで先制点を奪っているにもかかわらず、勝利したのはただ1試合。同点か逆転を許す試合が続いているだけに、神大のギアが上がり切っていなかった前半に畳みかけたかったところだったが、榎山康監督が「一つの壁」と話したように、絶対的なストライカーがいない中で2点目を奪うことが引き続きの課題だ。フィニッシュの形に持ち込むシーンをもっと増やしたいところ。「次のゲームが大事。後期、内容的によくはないわけではないので、ブレることなく戦いたい」（榎山監督）。

対する東農大は前節、首位の関学大を追い詰めたものの、アディショナルタイムに勝ち越されて1-2で敗れた。連敗で降格圏が見えてきた状況で迎えた前節は、前線から激しいプレスを仕掛けて関学大にボールを持たせず試合を優位に進めていたが、8分に相手の好判断からのロングシュートを許して先制点を献上。それでも、前

線の積極的な動きと浅いDFラインで首位チームに余裕を与えず、82分ついに同点に。しかし、残り時間でパワープレーに出てきた相手を抑え切れなかった。連敗中の消極姿勢が一変、縦への速いボールとテンポの良い攻撃の形が戻ってきただけに「希望の持てる敗戦」（秋吉保浩監督）だったのも確か。悔しさを次につなげたい。  
<3回警告> 冨澤右京（東学大）、加藤聖哉・小田原貴・金裕志・村山翔・佐々木翼・櫻岡徹也（東農大）  
<前期の対戦> 東学大0-1東農大

東学大		東農大	
2. 吉田	16. 冨澤	13. 岡庭	17. 徳田
4. 脇本	9. 山田	15. 小田原	10. 浜田
7. 平田		9. 相川	21. 松尾
8. 菅		14. 石川	25. 金
3. 安藤	11. 五十嵐	5. 櫻岡	
18. 久保		8. 佐々木	3. 加藤
5. 廣木			
1. 須賀			

# 神奈川大学 VS 青山学院大学

10月18日(土)  
13:50K.O.  
青学大 G

思うように勝点を伸ばせない2位・神大と、4連勝で昇格圏が見えてきた青学大との対戦。勢いでは青学大に分がある現在の両チームの状況だが、昇格圏を死守したい神大は調子を取り戻すことができるか。

その神大は前節、東学大と1-1で引き分け。先制されながら追い付いて勝点1は確保したが、「攻守の切り替えが甘かった。本来のスピード感が出せなかった」（松永道敬総監督）。続いて行われたミドルウィークの東洋大戦では、またも先制点を奪われ、追い付いたものの勝ち越しを許した。攻撃面は少し修正されたものの、「相手の攻撃回数はそれほど多くなかったが、拾われて素早く左右に展開されたのは反省」（松永総監督）。後半に与えたシュートは勝ち越し点の1本だけだっただけに後悔が残るだろう。これで後期は2勝2敗2分。これ以上勝点を落とすわけにはいかない。青学大との勝点差は2。複数得点を奪えるかどうかが課題だ。

一方の青学大は前節、日体大との同勝点对決（青学大が1試合少ない状態）を2-1で制した。「中盤が集中力を切らさず、しっかりハードワークしてくれた」と福永泰コーチが話したように、最後まで運動量を落とさず、後半アディショナルタイムでの勝ち越しにつなげ

た。そして第16節延期分の産能大戦も1-0で勝利。前半から積極的に仕掛け、守備では産能大の逆襲を未然に防いで零封。負傷の影響でDFラインの顔ぶれが変わった中でも、これで4連勝、ついに昇格圏まで勝点2差に迫った。上位チームとの対戦が始まるこれから、真価が問われる本当の戦い。今季は引き分けが多い上位との対戦で、勝ち切れる試合ができるかどうか。

<3回警告> 長野祐太・鈴木翔大・芦野翔斗（神大）  
<前期の対戦> 神大2-2青学大

神大		青学大	
3. 高木	11. 星	26. 森下	11. 恵
4. 藤原	16. 武田	25. 水島	29. 上村
10. 伊東	24. 鈴木	4. 後藤	1. 高橋
6. 前田		10. 関谷	
5. 杉山	22. 伏木	8. 伊藤	3. 御牧
7. 長野		7. 荒木	6. 服部
1. 阿部			

# 日本大学 VS 平成国際大学

10月18日(土)  
11:30K.O.  
川口

連勝から一転、3連敗を喫してしまった日大と、昇格を争う法大を逆転で下した平国大との対戦。降格圏を脱した平国大が勢いを見せるか。

日大は前節、東洋大に0-2で敗れた。今季開幕戦で破った相手との対戦は、スコアが逆でもおかしくないような内容であったが、昇格を争うチームの勝負強さに屈した。「全体的には悪くなかった。内容より勝点3を求めていたので、痛い敗戦」（川津博一監督）。チャンスは作ったが決め切れず、決して多くなかったピンチで2点を奪われた。いずれも、DFラインのちょっとしたたつきを突かれ、ゴールにまでつながられた。ここ4試合は勝利から見放されており、4試合で2得点と、後期序盤は好調だった攻撃陣の不振が気がかりだ。これからは下位同士の直接対決が増えてくる。結果を求める、勝負に徹したゲーム運びができるかどうか。

対する平国大は前節、法大に2-1と逆転勝利を飾った。法大の攻撃に対してしっかりとブロックを作り、シュートを打たれながらもしので前半はスコアレス。後半も残り20分になってついにゴールを割られたが、5分後に追い付き、81分にPKを奪って勝ち越した。「絶対に勝点が欲しかった。選手たちはよくやってくれた」

（西川誠太監督）。1点を許した後、逆襲に転じて少ないチャンスを2得点につなげたのは見事。「失点もしたし、攻撃ももっとうまくできたはず。誰が出てもブレないようにするのが課題」（西川監督）。後期は昇格争いを繰り広げる上位チームから3勝を挙げ、10位に浮上した。一気に昇格圏を突き放せるかどうか。  
<3回警告> 成瀬琢斗（日大）、尾林一樹・千葉真史（平国大）  
<前期の対戦> 日大0-2平国大

日大		平国大	
29. 高田	14. 成瀬	32. 鈴木	5. 小松崎
2. 長谷川	33. 圓沸	10. 堀越	22. 横瀬
21. 小淵	8. 床井	9. 星子	6. 鎌田
19. 高山	13. 中野	21. 馬屋原	7. 尾林
3. 奥村		20. 村川	2. 増田
9. 宇都宮		25. 玉田	
16. 榊原			